

2023年12月5日

核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加して

日本原水爆被害者団体協議会

代表委員 田中熙巳

代表委員 田中重光

代表委員 箕牧智之

事務局長 木戸季市

核兵器禁止条約(TPNW)第2回締約国会議が11月27日から12月1日にニューヨーク国連本部で開催され、宣言「核兵器の禁止を堅持し、その破滅的結果を回避するための私たちの誓約」を採択し終了しました。

ロシアやイスラエルの核使用の威嚇のもとで、会議には締約国だけでなくオブザーバーとして35カ国が出席して討論されました。次回会議に向け被害者支援や環境修復の計画など条約の6条と7条に関する国際協力の推進が確認されました。

核兵器のない世界に向け、大きな転換点になったと強く感じました。

この会議に参加しなかった日本政府は、多くの市民社会の声を無視しこの流れに背を向けています。「唯一の戦争被爆国」を自称しながら、全く無責任と言わざるを得ません。

本締約国会議には、箕牧智之代表委員と木戸季市事務局長が日本被団協を代表して参加し、本会議では、TPNW第6条と第7条の核被害者の援護に関する国際的取り組みに関する討議での重要な役割を果たしました。

木戸事務局長は会議の冒頭、ハイレベルセッションで発言。また、核兵器の非人道性に関するテーマ別討論ではパネリストも務め、一貫して核兵器のもたらす結末について訴え、大きな共感を得ました。

箕牧代表委員は会議の内外で原爆被害者としての証言に立ち、多くのNGO代表も参加した多方面にわたる討議の中で、被爆者として締約国会議の成功に大きく貢献しました。

TPNW第2回締約国会議でえられた知見をもとに、これからの日本被団協の運動において新たな課題に取り組む決意を固めました。

以上

.....

〔日本被団協〕東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル 902

電話 03-3438-1897 FAX03-3431-2113